

第5学年 社会科学習指導案

指導者

1 単元名

～ から世界に発信する新聞社～
私たちの暮らしと情報

2 指導観

こんな子どもたちだから

アンケートから、子どもたちの90%が「家庭において毎日、新聞に目を通している」と答えており、知識は十分ではないが、情報産業にはどのようなものがあるのか、情報がどのような機関で作られ、自分たちがどう活用しているのか調べたいという意欲が高まってきている。 (意欲・関心)

子どもたちは追究活動における事実をもとに自分の考えをマップに表したり、聴き合い活動をしたりしてきている。地図資料を関連付けて読み取ることやポートフォリオを活用しての振り返りや自己評価も少しずつできるようになってきている。 (学び方)

前小単元で子どもたちは、「日本の工業」の学習を通して、工業生産に従事している人々の工夫や努力について学んできている。また、それらが国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解するための必要な見方・考え方を前単元で身に付けてきている。 (認識)

こんな教材を使って

単元のねらい

本単元は、「我が国の情報産業や情報化した社会の様子について、放送、新聞などの産業と国民生活とのかかわりを調べることを通して、情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の活用が大切であることを考えるようにすること」をねらいとしている。

学習指導要領への意義

このような教材を取り上げることは、情報産業に従事している様々な立場の人々によって発信されている情報が、わたしたちの生活に活用されていることを、子ども自らの事実追究から具体的に理解できるという点で価値高いと考える。

テーマへの意義

子どもたちにとって、Hさんとの出会いを通して、人の手で情報が作られていることや私たちの生活に活用されていることを具体的かつ共感的に学ぶことは、聴き合い活動への意欲を高め、情報の活用を主体的に考え、豊かな学びをつくることができるという点で意義深いと考える。

こんな手立てで(方法)

つかむ段階では

学習問題をもとに自分の課題を把握する次の活動を設定する。

新聞社で働くHさんたちが発信している新聞の紙面を比較してみることにより、情報がどのように活用されているのかを考えるようにする。

さぐる段階では

Hさんへのインタビューなどを通して自分の課題に沿って追究し、考えマップ、表現物に整理する聴き合い活動を設定する。

あらわす段階では

Hさんたちが広める情報産業についての表現物をもとに、考えを再構成する聴き合い活動を設定する。学習問題に対する異なる考えを聴き合い、相手の考えのよさを受け入れながら共通点を見いだしていく。また、ポートフォリオを活用して単元を通した自分の考えの変容を振り返り、自己評価する。学習問題についての見方・考え方の変容を振り返り、Hさんたちが発信する情報と私たちの暮らしにおける情報活用とをつないで理解する。

H(GT)さん

目指す子どもの姿

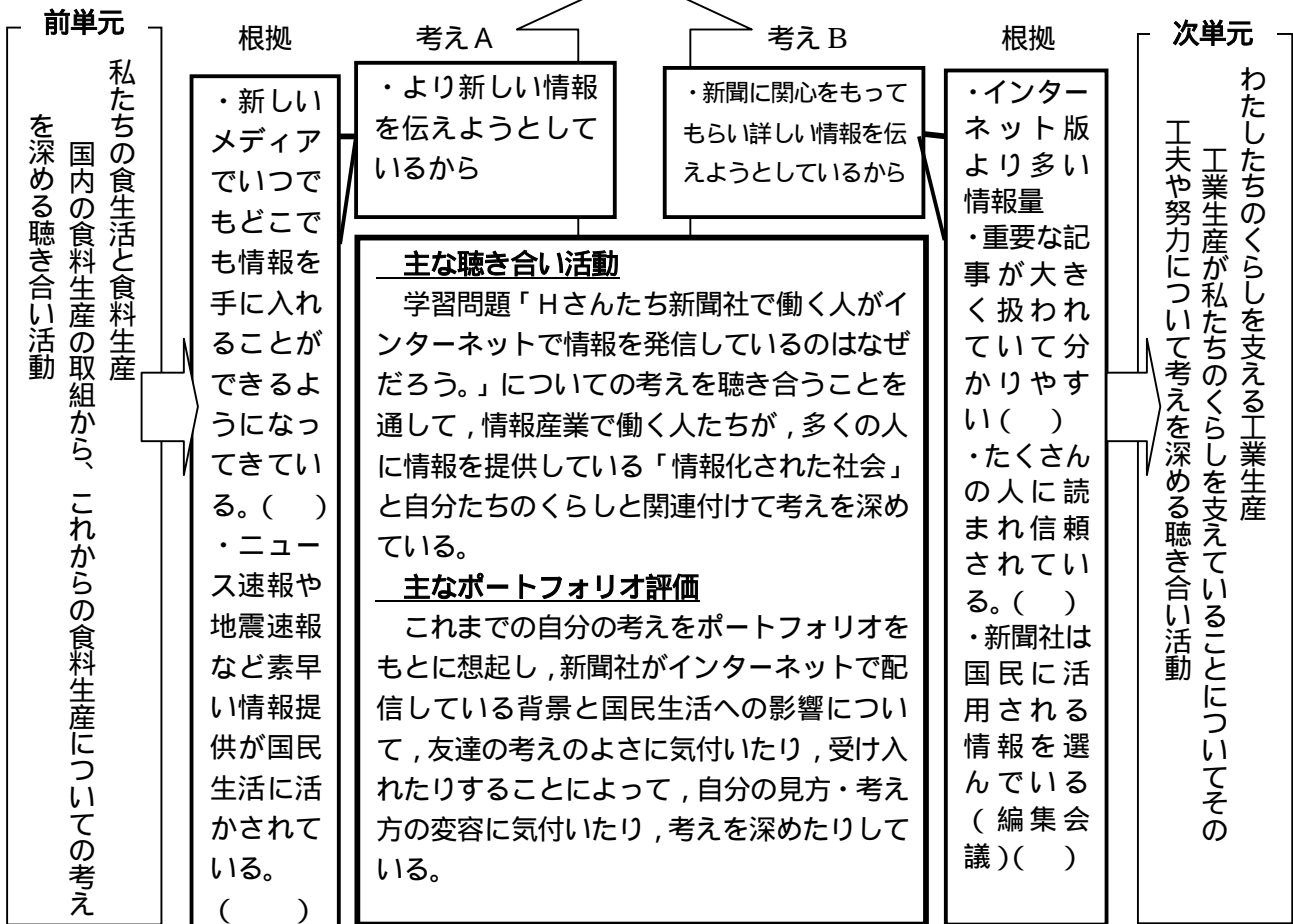
情報産業にかかわり、新聞社で働くHさんの姿を通して、情報産業にかかわる人たちの仕事に関心を持ち、意欲的に調べることができる。 (意欲・関心)

情報産業やその施設について見学したり、地図や資料から考えたりして、事実をもとに追究整理し、考えマップや表現物をもとに効果的に聴き合うことができる。 (学び方)

聴き合いを通して、新聞社で働く人々が、正確に速く届けた情報が活用される「情報化された社会」と国民生活とのかかわりについて理解することができる。 (認識)

3 単元カリキュラム

社会科部テーマ
人物とのかかわりを通して考える力を育てる社会科学習



(考えAの資料)

資料 : いつでもどこでも最新の情報を手に入れることができる最新の情報機器

資料 : 最新の情報を伝える新聞社の取組
(号外記事と最新記事への差し替え)

(考えBの資料)

資料 : インターネット版より多い新聞の情報量

資料: 世界一の発行部数を誇る 新聞社

資料 : 情報を厳選する編集会議

4 指導計画 (計13時間+見学3時間)

段階	主な学習活動と内容	評価規準と子どもの姿 = 評価規準 ・ = 意識	指導上の留意点と評価方法 = 留意点 = 評価方法	配時
つかむ	<p>1 様々な事実と出会い、学習問題をつくる。</p> <p>(1) 家の中の情報探しをする。 ・新聞・テレビ・インターネット・電話・どこでもインターネットにつながる最新の携帯電話</p> <p>(2) 情報の活用するよさについて話し合う。 ・情報をじっくり読める新聞 ・詳しい記事 ・好きなところから読める ・かんたんに保存</p> <p>(3) インターネット新聞と新聞紙の発行部数のグラフから違いや疑問を出し合う。</p> <p>(4) 学習問題を設定し、自分の課題をもつ。</p>	<p>身近な情報産業について想起し、意欲的に学習しようとしている。</p> <p>・お母さんはインターネットで家族旅行の予約をしたよ。</p> <p>・現在では情報が私たちの生活の中で使われているね。</p> <p>情報を活用するよさを分析的にとらえ、関連する社会的事象を考えている。</p> <p>・お母さんは洗剤が値上がりするという記事を読んでスーパーで買っていたよ。</p> <p>・記事の大きさや場所で情報の大切さが分かるね。</p> <p>・インターネット新聞は無料で配信されているから新聞を買う人が減るのではないかな。</p>	<p>身の回りの情報源に気付け、情報取得の手段に対する関心を十分にもたせる。</p> <p>《支援》 学習プリント・発言分析</p> <p>情報が国民生活に影響を与えている場面の写真を掲示し、考えさせる。</p> <p>《支援》 学習プリント分析</p> <p>インターネット版の新聞と新聞紙面を比較する。</p> <p>《支援》 ポートフォリオ分析</p>	<p>1</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1</p>
	<p>学習問題: Hさんたち新聞社で働く人がインターネットで情報を発信しているのはなぜだろう。</p> <p>2 聴き合い活動をし、自分の課題を明確にし、見通しをもつ。</p> <p>(1) 学習問題について聴き合い、課題を明確にする。 ・学習経験、生活経験を生かした予想</p> <p>子どもの予想 新聞社もテレビに負けないように新しい情報を伝えたい。 記事のことを知って、新聞の紙面で詳しく読んでほしい。</p> <p>【考えA】 より新しい情報を伝えようとしているから</p> <p>【考えB】 新聞に関心をもってもらいたいから 詳しい情報を伝えたいから</p> <p>(2) 調べる内容・方法を決めて学習計画を立てる。 ・新聞社の見学 ・インターネット など</p>	<p>課題づくりの内容と方法を振り返っている。</p> <p>マップに自分の考えを記入し、分類している。</p> <p>・政治のことが目立つところに書かれているよ。</p> <p>台風の時はずっとテレビで台風情報を見ていたよ。</p> <p>・最近は環境問題が多く取り扱われているね。</p> <p>・自分の調べる内容と方法をしっかりと決めておくといいね。</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 50px; margin-bottom: 10px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; padding: 5px; text-align: center;">オンライン(英語版)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>交流活動 全体 ・相違点をもとに課題を明らかにする聴き合い活動</p> <p>自分の考えをマップに書かせ、組み立てながら根拠とのつながりも発表させる。</p> <p>《支援》 ポートフォリオ分析 個に応じた追究を可能にするために、課題別に内容や方法を交流させる。</p> <p>《支援》 学習プリント分析</p> </div>	<p>1</p> <p>1</p>

<p>さ ぐ る</p>	<p>3 見学の視点をつくり,見学に行く。 ・ 新聞社見学(Hさん) 記事の種類 文字量 部数 版の違い(見出しの違い) 編集部・校閲部など (1) 新聞社で働く人がどのようにして情報を集め,記事を決めているかを調べる。 (2) 新聞社が集めた情報はどのように私たちの生活にかかわっているかを考える。</p> <p>4 中間交流をする。 (1) 聴き合い活動をし,不十分な点を補う。 (2) 表現物の整理をし,自分の考えをまとめる。</p> <p>5 整理した考えをもとに学習問題の答えを交流する。 (1) 聴き合い活動をし,見方・考え方のよさから共通点,合意点を見付ける。</p>	<p>・ 新聞社のHさんに聴くと,いろんなことが分かるよ。 ・ 新聞も新しい情報に更新されていくんだね。 ・ インターネット新聞に載せる記事も新聞記者が集めてきているんだね。 ・ どんな記事を書いたらいいか編集会議で話し合っているんだね。 ・ うちでは天気予報をみてお店の仕入を決めているよ。 ・ さんの考えも考えマップに書き加えておこう。 追究の内容と方法を振り返っている。</p> <p>自分の考えの変容を「考えマップ」に表している。 ・ 友達が発表した についてぼくは考えていなかったから,考えマップに赤で書き加えておこう。</p>	<p>見学の視点をもって,見学に行く。 《支援》 学習プリント分析</p> <p>実際に紙面の構成について考えることによって,私たちはどのように情報を活用しているかを考えさせる。 《支援》 学習プリント・発言分析</p> <div data-bbox="1013 638 1364 840" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>交流活動 同質グループ ・ 不十分な点を補い,考えを整理する聴き合い活動</p> </div> <p>中間交流会で意見や情報を交換させ,次の活動への課題をもたせる。《支援》 フリップ分析</p> <div data-bbox="1013 996 1364 1220" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>交流活動 全体・異質グループ ・ 共通点をもとにして考えを深め再構成する聴き合い活動</p> </div>	<p>3 1 1 1 本 時</p>
<p>あ ら わ す</p>	<div data-bbox="231 1086 622 1489" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【考えA】 ・新しい情報を伝えたい</div> <div style="font-size: 2em;">⇄</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【考えB】 ・詳しい情報を伝えたい</div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 5px;"> <p><共通点> ・ 情報化した社会 (国民生活への大きな影響) ・ 時と場合で情報を使い分ける (国民生活とのかかわり)</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">合意点</div> </div> </div> <p>(2) 聴き合い活動をもとに自分の考えを再構成する。 ・ 合意点からもう一度学習問題の答えをつくる。</p> <p>6 インターネットやメールの利用から,情報の活用について話し合う。 ・ インターネットの普及 ・ 情報の多様性と危険性 ・ 正しい活用の仕方</p> <p>7 単元全体を振り返る。 情報と私たちの暮らしについて自分の考えを見直す。 ・ 作文「新聞と私」</p>	<p>考えと根拠のつながりをとらえようとしている。 ・ Hさんたちは新聞では足りないところを補おうとしているんだね。 ・ それぞれのよさを知って使い分けるといいね。 ・ 情報化した社会では新聞社の取組も変わってきているんだね。 ・ メールは楽しそうだけど,問題も起こっているらしいね。 ・ 情報と私たちの生活はつながっているんだね。 ・ 情報は正しく使わないといけないね。 ・ 情報は私たちの生活に大きな影響を与えているんだね。 ・ 新聞の情報をもっと活用していきたいな。</p>	<p>考えが重なり合うところについて考えさせる。 《支援》 考えマップ,自己評価カード分析 新聞以外の情報取得手段について考えさせる。 《支援》 発言・ポートフォリオ分析 「よさ」と「問題点」の両方から情報の活用の仕方について考えさせる。 《支援》 ポートフォリオ分析 この学習で学んだ社会的事象に対する見方・考え方を生かしてまとめさせる。 《支援》 ポートフォリオ分析</p>	<p>1 1 2 1</p>

5 本時

表現物をもとに聴き合うことを通して、インターネットで発信しているわけについて考えさせる場面

(12/16)

6 本時の目標

Hさんたちの取組や見学・聞き取りで調べたことをもとに、新聞社をはじめとする我が国の情報産業は情報化を進展させ、国民の生活を支える重要な役割を果たしていることを理解することができる。
(学習指導要領から)

聴き合い活動を通して、友達の見方・考え方のよさに気付き、Hさんたち新聞社で働く人たちがインターネットで情報発信しているわけについて考えを深めることができる。
(テーマから)

7 本時の授業仮説

全体での聴き合い活動と異質グループでの聴き合い活動という2つの聴き合い活動を通して友達の見方・考え方のよさに気付き、考えの共通点を導き出しながら自分の考えの変容を比較するポートフォリオ評価活動を設定すれば、新聞社をはじめとする我が国の情報産業は情報化を進展させ、国民の生活を支える重要な役割を果たしていることを理解し、新聞社で働く人たちがインターネットで情報発信しているわけについて新しい情報を伝える、詳しい情報を伝える等の面から考えることができるであろう。

8 本時指導の考え方

本時のねらい

本時は、学習問題の答えについて、互いの考えを聴き合うことを通して、友達の見方・考え方のよさに気付き、新聞社をはじめとする我が国の情報産業は情報化を進展させ、国民の生活を支える重要な役割を果たしていることを考えさせることをねらいとしている。

前時までに、子どもたちは学習問題「Hさんたち新聞社で働く人たちがインターネットで情報発信しているのはなぜだろう。」について、自分なりの考えをもって意欲的に追究してきている。子どもたちの考えは、〔A：より新しい情報を伝えようとしているから〕〔B：新聞に関心を持ってもらい詳しい情報を伝えようとしているから〕の2つに大きく分けられている。子どもたちは、Hさんにかかわりながら、話を聴いたり、考えのもとになる具体的な根拠などを集めたりして表現物に整理し、まとめてきている。表現物には、学習問題に対する自分の答えとその根拠になる具体的な資料が相手に分かるように並べられ、考えマップも発表の際の補助資料として準備している。

交流活動の工夫について

まず、考えAと考えBそれぞれの立場で全体での聴き合い活動を行う。これは、友達の考えのよさを見付けることと同時に、共通点「私たちの生活において情報化が進んできている」と「私たちはくらしの中で、時と場合に応じて情報を活用している」を導き出すためである。

次に、共通点を受けて異質グループでの聴き合い活動を行う。考えAと考えBそれぞれの立場を超えて、学習問題に対する考えの方向性を見いだす合意点を導き出すためである。そうすることで、新聞社がインターネットで配信する背景と国民生活への影響について考えを深めたい。

最後に、合意点をもとに自分の考えの変容を振り返らせ、自己評価カードを書かせることで、次時で学習問題に対する考えを再構成するための方向性をもたせる。

評価活動の工夫について

前時までのそれぞれの時間における考えを記録したポートフォリオを本時授業場面で活用し、自分の考えの変容過程やそのわけを振り返らせ、見方・考え方の変容を発表させることで、友達相互の対話の中で学習することへの価値をもたせたり、聴き合い活動での発表補助資料に役立てたりしていくようにする。前時までに、自分の考えを表現したものをポートフォリオにまとめ、考えマップも併用しながら、考えの変容を自己評価カードに記入し発表させることで、学習の達成感を高めたい。

・規準に満たない子への支援

共通点が見付からない子どもには、再度、考えマップやポートフォリオを見直させ、その資料に表された結果がどのようなことを意味しているのかを、教師が問いかけて、考えさせる。そうすることによって、ちがう考えの子どもとの共通点を見付けるきっかけ作りをしていく。

9 準備

フリップ、考えマップ、資料(表、グラフ、新聞等)、ポートフォリオ、自己評価カード

10 本時の展開

学習活動と内容	教師の支援	評価基準		資料
1 これまでの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。	本時のめあてを確認し、学習のめあてをつかませる。	基準A	基準B	インターネット版新聞
<p>学習問題：Hさんたち新聞社で働く人がインターネットで情報を発信しているのはなぜだろう。</p>		<p>・意欲的に聴き合いをし、本時交流に気持ちを高めている。</p>		
<p>本時のめあて：情報化した社会の様子に対するそれぞれの考えを聴き合い、友達の考えのよさを見付け、考えを深めよう。</p>				
2 聴き合い活動をする。 (1) 全体で聴き合う。 (代表児童が提案する) 考えの違いを明確にして、発表に対する質問や確かめをする。	考えの違いが明確に分かるように、根拠を順序よく話すなど、発表の仕方を工夫することを伝える。	<p>基準Bに達しない子への支援</p> <p>・机間支援を行い、全体の聴き合い活動を例に、どのような視点で見直せばよいかを助言したり、友達の考えのよさと比べたり、つないだりさせる。</p>		ポートフォリオ
<p>【考えA】</p> <p>・より新しい情報を伝えようとしているから</p>	<p>【考えB】</p> <p>・新聞に関心を持ってもらい詳しい情報を伝えようとしているから</p>			
<p>《根拠の例》</p> <p>・より新しい情報が求められている。</p> <p>・地デジ放送の文字放送</p> <p>・インターネットの広まり</p> <p>・町中にある情報ボード</p>	<p>《根拠の例》</p> <p>・より確かで詳しい情報が求められている。</p> <p>・新聞社による詳しい取材と厳選された情報</p> <p>・世界一の発行部数</p>	<p>・筋道を立てて自分の考えを発表し、表現方法を工夫して相手に分かりやすく伝えている。</p> <p>・筋道を立てて自分の考えを発表し、表現方法を工夫して相手に伝えている。</p>		考えマップ
<p><共通点></p> <p>・情報が進んできている（情報化した社会）</p> <p>・私たちは暮らしの中で、時と場合に応じて情報を活用している。</p>				
<p><合意点></p> <p>情報を活用しながら生活をしている社会で、情報や情報を集める方法を選ぶことができるようにHさんたちはインターネットで情報を発信している。</p>		<p>・学習問題の答えについて、2つ以上の観点から自分の考えをポートフォリオなどを活用しながら振り返っている。</p>	<p>・学習問題の答えについて、友達の考えをポートフォリオなどを活用しながら振り返っている。</p>	自己評価カード
3 自分の考えの深まりをポートフォリオで振り返って自己評価カードに記入し、発表する。	インターネット版の情報を活用できる場面を検証する。			
<p><本時で目指す子どもの姿></p> <p>私は、新聞に関心をもってほしいからだと考えていました。でも、聴き合うことで私たちの生活に情報を活かすためにインターネットを使って早く伝えることも必要とされているということがわかりました。私たちが情報を集めたり、選んだりする方法が用意されていて「情報化した社会」に私たちの国民生活は支えられていることがわかりました。</p>		<p>基準Bに達しない子への支援</p> <p>・机間指導を行い、友達の考えのよさと自分の考えをふり返らせ、自分の考えでは生活のどのような場面で情報を活用できていることになるのか考えさせる。</p>		
4 次時の学習を知る。 自己評価カードをもとに、学習問題についての考えを再構成することを伝える。				<p>基準Bに達しない子への支援</p> <p>・机間指導を行い、友達の考えのよさと自分の考えをふり返らせ、自分の考えでは生活のどのような場面で情報を活用できていることになるのか考えさせる。</p>